

マダン州、ボギア地区

浜辺より撮影 滝澤祐一氏



椰子の樹

第38号

令和8年2月11日発行
長野県諏訪郡富士見町落合
発行人 安川叡春
印 刷 杏花印刷

会員の皆様にはご清祥
にて新しい年を迎えられ
たこととお慶び申し上げ
ます。本年はどうかよろ
しくお願ひいたします。

昨年七月に行われました第五十七回総会に於きまして、小池博之会長の

の役員も高齢化により交代をしたいが後継者がいない、その上それぞれ健康上の問題も抱えておる現状もあり、選考に難儀いたしました。私自身体調にも不安があり、何より歴代会長の熱意にあふれた指導力で会を率いてくださった姿が思い出され、到底及ぶところではないと固辞しましたが、やそれぞれご事情あり、や

式での天皇陛下のお言葉に、「戦中・戦後の苦難を今後とも語り継ぎ、皆で心を合わせ、将来にわたくつて平和と人々の幸せを希求し続けて行くことを心から願います。」と述べられました。会員のお一人お一人が語り部となつて次の世代の心に慰めの灯を燈しつないでいい

の慰靈巡拝は日本遺族会の同事業の終了もあり、困難な状況です。そのような時、本会幹事の滝澤さんが昨年暮れ二度目の遺骨収集事業へ参加されました。（詳細は二・三面）今後國の遺骨収集事業への協力を通して現地とのつながりを図りたいと思
います。

戦没者への慰霊の 誠を語り継ぎ、

会を守りつなこ

長野県ニューギニア会の存続を願って 就任の挨拶

こうではありませんか。必ず若者たちが平和と慰靈の灯を引継いでいくてくれるものと信じています。そして若い世代に入会を勧め、事務局などのお手伝いを頂ける方が居られましたら連絡をお待ちしています。

ボギア地区コリンゴル村
作業前の現地ワーカー集合写真



レビ・ジェームス氏
右は滝澤



遺骨収集作業風景



遺骨収集作業風景



地権者のジャステインさんに、
昨年撮影の写真2枚を贈る



洗骨(刷毛ブラシ等で、遺骨の砂等を取り除ききれいにする)後、
同行の鑑定人(長崎先生)による形質鑑定の様子
(鑑定結果、日本兵の可能性の高い柱の検体を持ち帰る)



現地住民への活動内容説明、
情報収集を行い、又、
村のリーダーらに日本兵埋葬地
について聞き取りを行う



現地住民による埋葬地と
考えられる場所(バンブラ)で、
踏査と位置確認作業



昨年の派遣時に撮影した現地の
子供たちの写真をホルダーにし、
50個ほど持参(お土産)

日本戦没者遺骨収集推進協会
下向亮弘（団長）、他3名
厚生労働省・福島直樹（指導監督）、長崎芽衣（遺骨鑑定専門員1名）
日本遺族会・豊蔵信夫
東部ニューギニア戦友・遺族会・（当会派遣）
隊友会・高橋裕一
PNG国立博物館（2名）、
通訳（1名）
派遣団同行者・マダン州政府職員（1名）



【派遣団構成】（敬称略）

日本大使館、PNG国立博物館、マダン州政府との協議を行い、今後の派遣計画や2月18日に予定されている焼骨式について説明。

※焼骨式については同日午前中に博物館敷地内にて「焼骨・追悼式」という形で式典を実施することとした。



ボギア地区ゴリンゴ
ル、アワールは次年度以降も継続調査を予定。アワールでの集団埋葬地については今後、要試掘調査とした。

ボギア地区ゴリンゴ
ル、アワールは次年度以降も継続調査を予定。アワールでの集団埋葬地については今後、要試掘調査とした。



第57回 令和7年度 ニューギニア方面 戦没者慰靈大祭報告



祭文奏上する安川会長

長野県ニューギニア会主催第57回ニユーギニア方面戦没者慰靈大祭は、先の大戦終結80年記念日（8月15日）を半月後に控えた令和7年7月27日松本市の長野県護國神社において執り行うこととし広く周知をしたところ、国会議員、県会議員の皆さん、松本市長、県議

遺族会代表などご来賓と当会会員併せて四十余名のご参列をいただき厳粛に斎行しました。

午後1時、気温35度の猛暑の中、神社本殿において

大太鼓の合図で始まり、英靈への黙祷、国歌演奏、修祓と続き、奥谷宮司による

祝詞の奏上。続いて本会

代表、小池会長（安川副会長代行）による祭文

が奏上されました。ついで臥雲松本市长（加藤部長代読）、相澤長野県遺族会長が慰靈のことばを述べられました。

締めくくり

に、来賓および

本会代表による玉串奉奠がなされ、約一時間におよぶ慰靈式典が閉式しました。

第57回通常総会は、慰靈大祭に引き続いだ護國神社会議室において開催され、約25名の会員が出席し、審議の結果令和7年度の活動が全会一致で承認されました。

第57回（令和7年度）通常総会の報告

役員名簿

令和7年度
長野県ニューギニア会

役員名簿

小池前会長が体調不良のため辞任され、令和7年度「安川新会長」に引き継がれました。新たな役員体制をご紹介いたします。

（敬称略）

| 一、令和6年度（'24.1~'25.5）決算 | |
|------------------------|------------|
| 予 算 | |
| ・ 収 入 | 1,360,803円 |
| ・ 支 出 | 769,371円 |
| ・ 繰 越 | 600,432円 |
| 二、令和7年度（'25.6~'26.5）予算 | |
| ・ 収 入 | 1,213,632円 |
| ・ 支 出 | 1,185,000円 |
| ・ 繰 越 | 28,632円 |
| ・ 特別会計（寄付等） | |
| （令和6年度末） | 302,000円 |

三、令和7年事業計画

令和8年7月26日（日）

長野県護國神社

第58回通常総会

令和8年7月26日（日）

慰靈大祭に統いて開催

会報「椰子の樹」発行

（年2回）

・ インターネット・ホームページの管理、リニューアル

・ 来賓および

本会代表による玉串奉奠がなされ、約一時間におよぶ慰靈式典が閉式しました。

椰子の実

暑い、寒い、と悩んだ昨年的一年が四季から二季になつたような年を送り会報の発行も動く。小池会長が健康のご都合もあり辞任されたが長い間ご苦労さまでした。新会長を中心編集メンバーも緊張している。★マスコミの政治問題はさておき、アメリカや国内でのスポーツTVが賑やか、そのなかでも大相撲の外人の活躍、優勝時は国籍には関係なく『君が代』の登場、また、勝敗はすべて現金主義など国技の一人歩きが気になつた。★世界各地の自然災害に国家間でのテロや武力問題、会報では論じきれないことばかり。遺骨調査、現地の情報、遺族の心情など過去の記録も掘り起こしておきたいと考えている。★さて、私事ながら今年は私の干支のウマ年、1930年（昭和5年1月）からの96年間、振り返るといろいろあつたが【鳥飛兔走】で退屈する時間がなかつた。私の96年があとどこまで続いてくれるか判らないが、せつかくの人生も大きく育て上げようとしている。どうぞ元気でお過ごしください。（竹村）